

2020 (令和二) 年度 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文： TA-FD 観測の完全遠隔制御にかかる観測サイトでの環境整備
英文： Development of the local center for the fully remote operation of TA-FD

研究代表者 竹田成宏（東京大学・宇宙線研究所・助教）
参加研究者 有働慈治（神奈川大学・工学部・准教授）
富田孝幸（信州大学・工学部・助教）

研究成果概要

2020 年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い国内・海外への出張が制限されたため、FD 観測そのものをはじめ現地での環境整備は全面的に保留となった。

その一方でユタ大学の主導により、観測サイト内に携帯電話網を利用したバックアップ回線が導入されたり、観測ステーションの一つ **Black Rock Mesa** ステーションにおいて観測時のみ使用する発電機から常時利用可能な商用電源へと電源供給方法の見直しなど、FD 観測の再開にむけての環境改善も進んでいる。但し、**Delta** 市内の観測拠点 **Cosmic Ray Center** ではネットワーク環境が改変され、本共同利用研究課題の目的の一つである経験の浅いユーザでも十分に扱えるユーザインターフェースの運用に影響が出ている。これらの状況変化への対応は、日本からの遠隔制御による FD 観測が行われていないため運用実績が蓄積できず仮想的に進めている段階である。

同時に現下のコロナ禍においては、研究室での安定した環境だけではなくリモートワークへの対応が必須となり、何処からでも遠隔制御ができるように新規にノートパソコン等を購入してさらなる軽量化・安定化に努めている。ポストコロナ禍の FD 観測再開にむけて今後も準備を進めていく予定なので、ご支援よろしくお願い致します。

整理番号 F32